



映像から動きのポイントを確認している様子

活用場面

一斉学習

教師による教材の提示

個別学習

個に応じた学習

協働学習

発表や話し合い

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom

Google Forms

学習のねらい

仲間と意見を出し合いながら課題となる技（一本背負 or 釣込腰）の習得に向け試行錯誤するとともに、技の習熟度を高める。その過程で互いに助け合い高め合おうとする態度を養う。

学習の流れ

導入 受身や既習の投技（大外刈、大内刈）の復習を行う。  
本単元での課題技（一本背負 or 釣込腰）を班ごとに決める。

展開 各班が課題として取り上げた投技について、  
動画投稿サイト等の映像から技のポイントを確認する。  
相互に技をかける際の動きを見るだけでなく、映像を撮  
ってその動きを確認することで、班の中でアドバイスを  
行いながら技の習得と技術の向上をめざす。



協働して  
課題解決する

まとめ 課題とする投技について、連絡技や応じ技を知り、次時  
以降の見通しを持つ。



見通しを  
持つ

ここでICTを活用！

①生徒が技のポイントを確認する際、動画投稿  
サイト等を活用するだけでなく、教員の模範動画  
をGoogle Classroomに投稿することで、授業  
内外で常に動きを確認できるようにした。

②生徒どうして技をかける様子を動画撮影し、自  
分の動きを確認できるようにした。

③単元末に、Google Formsを活用して協働学  
習の際の学びや気づきについて振り返りを行っ  
た。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

これまでの授業では、教員が生徒に技のポイントや体さばきを1つ1つ説明し、指導を行っていたが、今回、生徒自らが映像  
などを見て技のポイントを確認し、試行錯誤しながら技の習得をめざした。その結果、生徒どうしての学びや気づきが多く見  
られた。また、投技の習得をめざした取組みであったが、受身の仕方についても学びを深めている生徒もいた。

生徒が実践する時間を確保することができるよう、授業の中でChromebookを活用する時間に制限を設けた。  
Chromebookの活用により、映像を確認しながら実技を行うことができたり、多様なコンテンツから技のポイントを確認する  
ことができた。

生徒どうしが主体的に技の習得をめざしていたことに成果を感じているが、実践するにあたっては、受身や体さばきを生徒  
が習得し、安全に配慮して行う必要がある。